

！ デング熱

についてお知らせします。



平成26年8月に、海外渡航歴がなく都内の公園等で蚊に刺された方からデング熱患者が発生し、約70年ぶりにデング熱の国内感染が確認されました。デング熱はデングウイルスを保有する蚊に刺された場合に感染するもので、人から人への感染はありません。また、デング熱は感染しても重症化することはまれです。蚊に刺されてから3～7日程度で高熱が見られれば、早めに医療機関を受診してください。

- ！ デング熱の特徴**
 - (1) 発生状況**
主にアジア、中南米やアフリカなど熱帯・亜熱帯に広くみられ、推定で年間5、000万人～1億人の患者が発生しています。
 - (2) 感染経路**
ウイルスを保有した蚊に吸血された際に感染します。日本では、ヒトスジシマカ(いわゆるヤブカ)が媒介します。人(患者)→蚊→人の経路で感染し、人から人の直接的な感染はありません。
 - (3) 潜伏期間**
2～15日といわれており、多くは3～7日です。
 - (4) 症状**
突然の発熱、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛、発疹など。感染しても発症する頻度は10～50%です。予後は比較的良好ですがまれに重症化することがあります。
 - (5) 治療**
対症療法による治療(解熱や水分補給等)を行います。なお、有効な抗ウイルス薬はありません。

- ！ 身近にできる対策**
 - (1) 蚊を増やさないようにする**
蚊は、植木鉢の受け皿やプラスチック容器、廃タイヤなどに溜まった雨水等小さな水たまりで発生するので、日ごろから住まいの周囲の清掃に心がける。
○1週間に1度程度は、雨水が溜まった容器を逆さにするなど住まいの周囲の水たまりを無くすようにする。
 - (2) 蚊に刺されないうつらひんぷ**
屋外の蚊が多くなる場所で活動する場合は、長袖シャツ、長ズボンを着用し、裸足のサンダル履きを避け、できるだけ肌を露出しないようにする。
○薄手の素材の衣服の上からや、足首、首筋などの小さな露出面でも刺されることがある。



ヒトスジシマカ



ネッタイシマカ (日本国内での生息は確認されていない)

出典：国立感染症研究所

るので、虫よけ剤などを使用する。
○網戸や扉の開閉をできるだけ減らし、蚊取り線香等を昼間から使用するなど、できるだけ家の中への蚊の侵入を防ぐ。
○もし、蚊が家の中に侵入した場合は、叩いたり、スプレータイプの殺虫剤などで直ちに駆除する。

問い合わせ／県保健医療部疾病対策課
(☎048・830・3557)へ。

9月10日は下水道の日 ～私たちの生活を守る下水道～



地球上で水は絶えず循環しています。地上に降った雨や雪は川に集まり海に達します。海や川、地面等では、水が蒸発して水蒸気となって雲になり、それがまた地上に雨や雪を降らせませす。私たちが使った水も、このサイクルの中にあります。この使った水を集めてきれいにしてから自然に戻す施設が「下水道」です。

生活排水の再生、さらに生活環境の改善や公共用水域の水質保全まで、下水道は私たちの生活のさまざまな面にかかわっています。下水道は快適な生活を守るために欠かすことのできない施設であり、良好な水環境を守るための重要な役割も果たしています。

町では「荒川上流流域関連寄居公共下水道事業」として、昭和61年から下水道の整備を進めています。下水道を使用できる区域にお住まいで接続が済んでいないご家庭は、快適な生活を送っていただくためにも、できるだけ早く接続していただきますようお願いします。

また、水や下水道を正しく使用することで、下水道管や下水処理場の負担が減り、水環境も守れます。下水道に油や異物などを流さないよう心がけてください。「下水道」への皆さんのご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ／上下水道課(☎581・2121内線261)へ。

「下水道の日」の関連行事として、作品コンクールと下水道の日の集いを開催します。

ご応募ください！ 「下水道の日」作品コンクール

「下水道の日」関連行事として、下水道にちなんだ作品を募集します。

応募期限／9月16日(水)(必着)

部門・応募資格／(1)ポスター部門(県内の小・中学校に在学する児童・生徒)、(2)書道部門(県内の小・中学校に在学する児童・生徒)、(3)作文部門(県内の小学校に在学する高学年[4～6年生]および県内の中学校に在学する児童・生徒)、(4)標語部門(県内に在住、在学、在勤の者)

応募先・問い合わせ／埼玉県下水道公社経営企画課作品コンクール担当(〒338-0837 さいたま市桜区田島7-2-23、☎048・838・8585)へ。

※応募方法の詳細については電話、または埼玉県下水道公社のホームページで必ずご確認ください。

※応募していただいた方全員に参加賞を贈呈します。

※応募作品はすべて「下水道いろいろコンクール(主催：公益社団法人日本下水道協会、株式会社日本水道新聞社 後援：国土交通省、環境省)」に出品され、優秀な作品には別途国からの表彰があります。

ご参加ください！ 「下水道の日」の集い

事前の申し込みが必要となりますので、水循環センターまで電話、またはファックスでお申し込みください。

内容／水環境センター見学会

期間／9月6日(日)～8日(火)

時間／午前の部10時～12時

午後の部1時30分～3時30分

場所／小山川水循環センター

(本庄市東五十子382-1)

問い合わせ／小山川水循環センター

(☎0495・21・7997)へ。



下水道排水設備工事 責任技術者共通試験を行います

受付期間／8月10日(月)～9月18日(金)(必着)※土・日曜日を除く

試験日／11月1日(日)

試験会場／埼玉工業大学(深谷市)

受験資格／次のいずれかに該当する方

①高等学校の土木科、またはこれに相当する課程を修了して卒業した方

②高等学校を卒業した方で、排水設備工事等の設計または施工に関し、1年以上の実務経験を有する方

③排水設備工事等の設計または施工に関し、2年以上の実務経験を有する方

④①～③に準ずる方

受験料／10,000円

申し込み／郵送でお申し込みください(詳細は受験案内を参照)。

※受験案内は8月10日(月)から、役場2階の上下水道課で配布します。

問い合わせ／上下水道課(☎581・2121内線261)へ。